障害福祉サービス共通評価基準　概評　〔各シート共通〕

○概　評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要と思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。
3.生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、
障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。
⇒階段が急である。ワンフロアの訓練室で児童が活発に活動している。
9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。
⇒現在は第三者による外部評価に取り組めていない。
42.定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、
連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。
⇒発信はしているが、保護者様への認知度は低い。
45.事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。
⇒消防訓練で地域の方と一緒に訓練にあたることができた。その他については、施設単位ではなし。
50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分
された中で支援が行われているか。
⇒訓練は実施しているが、職員全体への周知やご家庭への発信は弱い。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 （○年○月から○年○月まで）
14.子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	個別指導の中で集団の機会を可能な範囲で取り入れることができた。	継続	2024年度中
16.支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	終業時刻が異なるため、必要な申し送りはLINE等で連絡を行った。	継続	2024年度中
24.学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	進路先から情報を求められなかったため、できていない。必要に応じて迅速に対応していく。	継続	2024年度中
29.保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	保護者会や面談の機会で必要が助言を行った。	継続	2024年度中

【参考様式】

サービス改善計画書

策定日：　令和7年3月11日

事業・サービス名：　放課後等デイサービス
児童発達支援

施設・事業所名：　ウィズ･ユー大宝

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責 任 者	備　考 (必要な予算等)
3.生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		訓練室が2階にあるが、階段が急である。 ワンフロアの訓練室のため、活発に活動する児童が多数いる。	階段昇降時は職員が誘導する。 分かるように「静」と「動」のスペースの確保する。	2025年度内	管理者	経費が掛かる場合、事業所経費より支出
42.定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		発信はしているが、案内ができていなかったり頻度が低く、保護者様に周知されていない。	HP、SNS（インスタ等）ともに備えているので、発信の頻度を上げるために担当者を決めて実施する。	2025年度内	管理者	経費が掛かる場合、事業所経費より支出
45.事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		施設単体では該当する行事を開催することができなかった。	ウィズ・ユーグループとして、キッチンカーを招いたり子ども食堂を開いたり活動することができた。今後はその行事に積極的に参加していきたい。	2025年度内	管理者	経費が掛かる場合、事業所経費より支出
50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		研修は実施しているが、職員への周知・徹底には課題が残る。	研修をして終わりではなく、組織に浸透することに注力する。研修方法の検討。	2025年度内	管理者	経費が掛かる場合、事業所経費より支出